



**シニア
CO-OP
わかやま**

北東西南 (NEWS)

人生の完成期、輝いて生きる！

発行所 和歌山高齢者生活協同組合
住所 和歌山市里198-1
TEL (073)488-1180

ホームページ [和歌山 高齢協](#)

[検索](#)

**総代会
特集号**

組合員数 3,898名 (2018年7月31日現在)

第一九回通常総代会が

盛大に開催されました！

六月一六日(土)

の午前一〇時三〇分
から、和歌山市直川
の和歌山市北コミュ

ニティセンターで、
約一〇〇名の総代・
組合員さんが集まり、

盛大に、第一九回通
常総代会が開催され
ました。

県下全域の組合員
さんの代表である総
代さん、紀和庵やさ

さえ愛センターなど、
地域で様々な活動を
展開している組合員

さんが集い、昨年度
の振り返りと、今年
度の活動について話

し合い、決議しまし

た。

今回は、役員の内
期満了に伴う改選が
あり、下記の新役員

常務理事)が選任されました。

田中理事長からは、来年の二〇周年に向けて、高
齢協の活動を旺盛に展開していきましようとの檄が
飛ばされました。

今年度の活動方針などは、次頁以降でご紹介しま
すが、「共生型総合福祉拠点」の取り組みをさらに進
め、合わせて、組合員活動による助け合い活動との
連動を模索していくことが確認されました。

経営的には厳しい状況で、介護保険制度もさらに
厳しく改定されてきていますが、役職員、組合員の
皆さんの力を結集し、「人生の完成期、輝いて生きる」
ための活動を推進していくことを確認することがで
きました。

総代会の中での報告では、昨年度新規開設した「ワ
ークショップとて」の活動報告、今年度から事業
を開始した「白浜ぬくもりの里」の近況報告に加え、
従前から事業を推進している御坊・日高事業所から
も日常業務の中での奮闘ぶりが紹介されました。

午後からの第二部では、顧問の坂口健太郎先生の
講演を軸に、「かっこつけない在宅看取り」と題して、
この間、広まってきている在宅看取りについて考え
るシンポジウムを開催しました。坂口先生の講演を
受けて、三名の組合員さんの在宅看取りの経験談を
聞き、その難しさを学び、どうすれば、住み慣れた

が、選任されました。引き
続き開催された第一回理
事会で、理事長は引き続き
田中秀樹さん、専務理事
には、内田嘉高さん(前

自宅で最期を迎えることができるとかを考える良い
機会になりました。
組合員のみなさん、来年の二〇周年に向け、様々
な組合員活動を旺盛に展開し、盛大に二〇周年を迎
えられるよう、ともに頑張りましょう。

今回の総代会で選任された役員の方々

- ◆理事長 田中 秀樹
- ◆副理事長 宇治田 康司
上森 成人
中 マチ子
- ◆専務理事 内田 嘉高
- ◆監事 志場 久起
島 久美子
杉原 通男
日野 のぞみ
- ◆理事 市野 弘
井上 美香
小長谷 恭史

- ◆理事 柏木 克之
金川 めぐみ
北田 千恵
坂口 圭子
阪田 充弘
芝田 努
下向 俊夫
高林 育司
堂本 穂美
昌山 美治
山田 三代士
山本 功
横畑 真治

第19回通常総代
会において、任期
満了に伴う役員
の改選が行われま
した。

「人生の完成期
を輝いて生き
る！」高齢協の原
点を大切に、活動
を推進していく先
頭に立っていただ
けるみなさんです。

みなさん、高齢
協の活動のさらな
る発展に向け、ご
協力をお願いします。

二〇一八年度の方針

専務理事 内田 嘉高

二〇一八年度の方針

この度、専務になりました内田嘉高と申します。設立から現在を知る一人として引き続き、「人生の完成期、輝いて生きる」理念実現のために、頑張ります。ご指導ご協力のほどお願い申し上げます。

さて、前回の特集号で事業計画の骨子はお伝えしたところですので、今号では議決いただいた計画の詳細と大切なところを現在の進捗とともに、お知らせします。

四つの重点

一、「共生型事業総合福祉拠点の充実と整備」
二〇一五年度からすすめている、制度事業の総合化（統合）と、制度によらない福祉活動（ささえ合い活動）を連動してすすめる福祉拠点の整備。和歌山やまぐちエリアでは四年目を迎える今年、連携事例の充実と黒字化を目指します。四月オープンの「白浜ぬくもりの里」では、ニーズの高い「住まい」の整備と、ささえ合い活動の発足をすすめます。月



一回の基盤整備会議や、随時の組合員懇談会が行われています。計画をもていない伊都・御坊エリアにつ

いては、理事体制の強化等をおこない、計画づくりをはじめています。伊都では八月に準備会を結成し、旧伏原保育所の再活用をテーマにした地域づくりフォーラムの開催を、地域の住民や団体の方と一緒に議論をおこなっています。

二、「新規事業の柱づくり」

福祉サービス以外に、高齢協独自の事業化をすすめます。人生一〇〇歳時代を迎える中で、就労のニーズは高まっています。単なる労働としてはなく、「やりがい」や「生きがい」が伴う仕事として、農業や福祉に着目しています。和歌山市やまぐちエリア限定で地域包括支援センターと連携しておこなっている「買い物・病院付き添いサービス」はシニアスタッフが活躍し、地域の高齢者が固定で利

用されるなど成果がでています。事業開発のため昨年ニッセイ財団から補助金をえて和歌山で取り組んでおり、補助金がなくなる後に継続すること、県下拠点での展開、組合員の参加が次の課題です。

三、地域づくりへの参入

一と二に大いに関わることでありますが、これからは地域との接点が増えます。根差す姿勢として、地域に頼られる生協を目指して、地域の課題に取り組みます。根差す姿勢としては、「よろず相談所」や「居場所づくり」からスタートし、そこから自主的な「サークル活動（健康づくりや生きがいづくり）」が生まれ地域の方が参加。そこから見えてくる、聞こえてくる地域の課題に対して、より多くの方に知っていただき、具体的な企画化でアプローチをおこなう（認知症カフェなど）。ささえ愛センターは、いわば総合窓口を目指します。ともすれば制度事業と、地域づくりは、切り離して考えられていました。しかし、情勢はますます厳しくなり、生きづらさを抱える方々を支え、そうすることで支える側も元気になり、最終的にはお互いが支え合う活動こそが、信頼を集め、制度事業をふくめて、強い

基盤となることができるはずで。

四、「人づくり・経営改善」

二〇一五～二〇一七の三年間は、新規事業の投資を重ね、赤字となりました。今年度は、黒字をだし、次なる事業展開に伝えられる体質強化をおこないます。監事退任された方をアドバイザーにお招きし、本部指導をいただいています。弱点克服のミーティングを行う等の事業所でも努力工夫を続けています。四月～七月の結果では、予算を上回りました。しかし下半期はより高い計画になっており、達成にむけ一層の精励で取り組みます。

三月のケア事例発表会は職員間で大きな反響をよびました。(ゆくゆくは、組合員さんに聞いていただく公開講座としたいと考えています)自分だけでなく多くの仲間ががんばっているんだと、あちこちで涙がこぼれました。素晴らしい感性を、より伸ばしていくために、「学ぶ文化づくり」の研修制度の拡充・充実を行います。やりがいのある職場づくりが、ケアの質の向上につながります。引き続き、各所長を中心に、職員一丸となり専門性の向上に努めます。



ささえ愛センターでこんな事やってるよ～(^◇^)

動楽会～ささえ愛ピクス



楽しく汗を流しながら身体を動かしていま～す(^_)v
だれでも参加できますよ～～

輪楽会～カラオケしよう



熱唱中～～～！
懐メロ楽し～！

らくらく ピアノサークル



新しい事に挑戦！皆と一緒に
楽しい～～

にじいろカフェ



お医者さんの話を聞いた後は、お楽しみ企画で楽しみながらカフェタイム～^o^()

アルツハイマー病	4.6倍
脳梗塞	1.9倍
心筋梗塞	2.1倍
ガン	3.1倍



二〇一八年度 介護事業部方針

二〇一八年度の全体方針を受けて、介護事業部では、「認知症・看取りを地域で支えるために」、「共生社会実現に向けて」という二つの視点で介護事業を進めていきます。

「認知症・看取りを地域で支える」点から、紀南地域の事業統合と、紀北・紀中地域での中期展開について検討をすすめます。

紀南地域では、今年四月から、共生型総合福祉拠点として、「白浜ぬくもりの里」を開設し、既存の二つのデイサービスと、ケアプランセンターを、一か所に統合しました。ここで



は、ささえ愛センターの併設を予定しており、将来的には、認知症グループホームなどの住宅機能も追加していきたいと考えています。

あわせて、紀北・紀中での事業展開の方向性についても検討をすすめます。

高齢協の理念ともつながら「人生が輝くコミュニティケア」を推進するために、地域福祉の「理念と実践方法の確立」を目指し、介護職員・組合員・地域の方々との議論を進めていきます。

地域での実践において重点を置きたいのが、医療・介護の専門職、民生委員さんや自治会の方、地域のNPOの方々、「こんな支援をしたい」という思いでつながり、「顔の見えるネットワーク」を作ることです。

また、「ケアの質の向上」も忘れてはならない視点です。介護（生協）職員は、専門性を高めていくことが必須です。

「共生社会実現に向けて」進めていきたいのは、「中途障害・高次脳機能障害の方を支える」ことと、「共生型の就労の場づくり」です。

「農福連携」「六次産業化」をキーワードに、就労の場を創出し、新規事業展開の方向も検討をすすめます。

事業経営目標としては、

事業高目標

四億二、七六七万円

剰余目標

二万円とします。

これらを実現するために、「人が育ち・事業が育つ職場づくり」を進め、職員組織の中の学ぶ文化を創出していきます。

職員組織全体が目標に向かって一丸となって取り組めるような職場づくり、職員が自己研鑽に努め、自身の成長を感じながら働き続けられる職場づくりをすすめます。

あわせて、研修制度の充実や、互いに刺激し合いながら学べる、「学ぶ文化」の創出をすすめます。

二〇一八年度 組織・運動関係方針

二〇一八年度の組織・運動関係の方針は、全体の四つの重点課題（P二〜三）との関連で設定しています。

まず、「共生型総合福祉拠点」（P二の一）の充実整備に関して、次の三つの方針を設定しました。

① やまぐちささえ愛センターの活動
ネットワーク、活動の創出、拠点展開、よろず相談の四つの機能強化を目指します。

② 認知症の方も安心して暮らせる地域づくり
「にじいろカフェ」の活動から、認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくりを目指す活動に展開します。

③ 白浜ささえ愛センターの設立

新規展開している「白浜ぬくもりの里」に、地域の組合員さんの協力を得ながら、高齢協二番めの「ささえ愛センター」の設置を目指します。

次に、「地域づくりへの参入」（P二の三）に関して、次の四つの方針を設定しています。

① 高齢協二〇周年に向かう組織作り

原点の「人生の完成期、輝いて生きる！」に立ち返り、目指してきた活動と現状、今後の方向性について、組合員のみなさんと旺盛に議論し、二〇周年を迎えたいと考えています。

② お助け隊の組織的改善

設立当初からの活動の一つである「お助け隊」をはじめとする組合員活動の在り方を整理し、様々な課題を解決したいと考えています。

③ 平和と人権を守るために

暮らしの安心は、平和から、日常の暮らしの中で常に平和を考える、そんな活動をすすめます。

④ 組合員・出資目標

組合員加入到達目標は、
四、二八七名

（和歌山県高齢者人口比一、四二％）
出資金到達目標は、
四、〇五〇万円

これらの他、管理・運営面の方針として、「生活協同組合で働く職員」の意識改革と、組合員のみならずとも地域活動を進めていく職員の育成も目指します。



新規事業所のご案内

共生型総合福祉拠点 白浜ぬくもりの里

今年の四月開設した、共生型総合福祉拠点「ぬくもりの里」の様子をご紹介します。ここでは、通常規模のデイサービス「ぬくもりの里」と、居宅介護支援の「白浜ケアプランセンター」を併設しています。

デイサービスの「ぬくもりの里」は、以前からあった、「ぬくもりの家（白浜事業所）」と、「上秋津の里（田辺第二事業所）」を合併し、高齢協の事業所のもつ力を結集してより良いサービスの提供を目指しています。また、この間ご希望の多かった日曜日の対応を実現し、三六五日の営業としていきます。また、「泊まり」に関するご希望も多くいただいております。これからのデイサービスの将来を見据えるとともに、利用者のみならずから頂いている「いつまでも、



「この職員さんにサポートしてほしい」というご希望にお応えするため、小規模多機能型や認知症グループホームへの発展を検討しています。

デイサービスだけではサポートしきれない介護のニーズに対して、よりよいサービス提供を目指し、ケアプランセンターを併設しました。高齢協の事業所だけでなく、地域の優れた事業所さんの力も借りて、利用者のみならずの暮らしをサポートしていきたいと考えています。

また、共生型総合福祉拠点という考え方は、「地域」には、高齢者の方だけが暮らしているわけではありません。現役世代の方々、若者、子ども、障害者の方々など、様々な方が暮らしているとあります。

「地域」の中で、頼りになる存在になっていくことを目指し、ここに来れば、すべての人が「輝いて生きる」ことができるような拠点としたいという思いを込めたものです。

この活動を進めていくには、「地域」の組合員のみならずの旺盛な助け合いの活動が軸になってきます。協同互助の精神に基づく生活協同組合として、組合員活動の拠点や、様々な困りごとへの対応なども進めていきたいと考えています。組合員のみならず、地域のみならず、ぜひ、ご協力をお願いします。

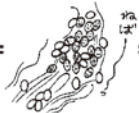




実りの秋、食欲の秋がやってきました。この季節は日本人の主食であるお米やさつまいも、さといも、栗、りんご、柿などたくさんの農作物が収穫の時期を迎えます。また、さんまやさばなどの魚も脂がのっておいしくなる時期です。ご家庭でも秋の味覚をたくさん味わってくださいね。今回は、新米ごはんがすすむ『納豆みそ』のレシピをご紹介します。つやつやごはんにたっぷりかけてどうぞ♪



納豆みそ



材料 (4人分)

- ・納豆 50g ・ごま油 大さじ1
- ・青ねぎ (小口切り) 70g ・みそ 大さじ1と1/3
- ・豚ミンチ 100g ・さとう 小さじ1と1/3
- ・にんにく (すりおろし) 少々
- ・しょうが (すりおろし) 少々

作り方

- ①フライパンにごま油を熱し、にんにく、しょうがを炒め、香りが出てきたら豚ミンチに火が通るまで炒める。
- ②①に納豆と調味料、ねぎを加え さっと炒める。



旅行倶楽部からのご案内

和歌山高齢者生活協同組合 旅行倶楽部 オリジナル企画! 阿波・土佐を訪ねる旅 3日間

2018年11月14日(水)出発

73,000円

ゆるやかな弧を描く
白砂青松

■出発日と旅行代金(大人お一人様)

コース番号 R2401B

旅行日程		4名様一室
2018年11月14(水)~11月16(金)		73,000円

※3名様1室の場合、お一人様4,000円増し、2名様1室の場合、お一人様6,000円増し。

■旅程

1	11/14 (水)	JR和歌山駅(8:30発)⇒○うずの丘大鳴門橋記念館(約2時間10分)⇒○大塚国際美術館(深い緑に囲まれた陶板名画美術館(約2時間))⇒鳴門・ルネッサンスリゾートナルト(16:10到着)泊	夕風
2	11/15 (木)	ホテル発(8:45出発)⇒△大歩危峡観光遊覧(船頭の絶妙な舵さばきで、眼前に迫る岩壁の景観を楽しみます(約2時間))⇒○高知市立自由民権記念館(約45分)⇒○桂浜(約50分)⇒○高知県立坂本龍馬記念館(激動の幕末に活躍した坂本龍馬の軌跡を紹介(約50分))⇒高知市内・三翠園(17:00到着)泊	朝風
3	11/16 (金)	ホテル発(9:00出発)⇒○高知城と城西公園(南海道随一の名城と呼ばれる(約1時間10分))⇒○平成浪漫商店街ひろめ市場(約40分)⇒★ザ クラウンパレス新阪急高知(約1時間)⇒JR和歌山駅(19:00到着)	朝風

ご案内

※交通凡例(=バス) ※上記スケジュール及び乗船時間は、交通機関・道路状況等により変更になる場合があります。
 ※○=入場観光、◇=下車観光(施設等へは入場しません)、△=乗車又は乗船にての観光、★=食事・ショッピングです。
 ■最少催行人員/15名 ■添乗員/同行致します ■バスガイド/業務致します ■利用予定バス会社/中紀バス(当社基準)
 ■食事回数/朝2回・昼3回・夕2回 【利用ホテル】1日目:(鳴門)ルネッサンスリゾートナルト 2日目:(高知市内)三翠園
 ※出発日の4日前までに当社から催行中止の連絡がない場合はツアー催行となります。このご旅行の最終日程表はあらかじめお送り致します。
 ※バス車内は禁煙とさせていただきますので、予めご了承下さい。
 ※ご参加人数によりましてはバスの座席が相席となる場合があります。(やむを得ず男女のご相席をお願いする場合がございます)
 ※く)内は滞在予定時間及びバス走行距離です。(都合により異なる場合があります)
 ※ お客様各位:添乗員は旅程管理に万全を尽くすため、お客様と同行させて頂きます。なお、労働基準法の定めからも勤務中一定の休憩時間を適宜取得させることが必要ですので、お客様各位のご理解とご高配をお願い申し上げます。

お申込み締め切りは、一〇月二五日(月)です。

詳細は、同封のチラシをご参照ください。

シニアCO-OPわかやまの主な事業所・活動

- ◆本部事務局 ☎073-488-1180 ◆やまぐち ささえ愛センター ☎073-462-0023
- ◆介護・福祉 ケアセンターおたっしゃ倶楽部
- わかやま訪問介護事業所 ☎073-455-7979 伊都・橋本ケアプランセンター ☎0736-44-2330
- 和歌山ケアラビタ ☎073-424-5295 御坊・日高事業所 ☎0738-23-0396
- やまぐち おたっしゃ館 ☎073-462-1055 田辺事業所
- れくらん ☎073-462-5558 かみとんだ おたっしゃ館 ☎0739-47-0866
- ワークショップとて ☎073-461-6756 白浜ケアプランセンター ☎0739-34-2672
- 伊都・橋本事業所 ☎0736-43-1546 白浜ぬくもりの里 ☎0739-34-2172

◆健康・生きがい事業部

JIAS PC(パソコン)/ハイキング友の会/ほっとけやん倶楽部/送迎事業部/市民農園/どこ竹@わかやま/旅行倶楽部/舞送事業部/いっぶく亭~紀和庵~/御坊おたっしゃタイム

◆田辺支部 ◆新宮支部

※本部事務局が移転しました。新住所、電話番号は

〒649-6311 和歌山市里198-1 ☎073-488-1180 Fax073-488-1181 やまぐちおたっしゃ館の北側になります。